



第9号

発行 2003年3月31日
 編集 群馬県大学図書館協議会
 「会報」編集委員会
 前橋市荒牧町4-2
 (群馬大学附属図書館内)
 ☎ 027-220-7169

平成14年度協議会総会を開催

平成14年度群馬県大学図書館協議会総会が3月13日、高崎健康福祉大学において15館23名が出席して開催されました。開催概要は次のとおりです。

- 報告事項は、①平成14年度活動状況、②第88回全国図書館大会の実施状況が報告されました。
- 協議事項は、①平成14年度決算報告、②平成15年度事業計画、③平成15年度予算、④協議会会則の一部改正について協議が行われました。



平成14年度 第88回 全国図書館大会群馬大会終了

第3分科会参加者 178名
第4分科会参加者 128名

平成14年10月23日(水)～25日(金)の3日間、群馬県で初めて第88回全国図書館大会が、日本図書館協会及び群馬県図書館協会等主催で県民会館を主会場として開催され全国から1,807名もの参加がありました。3年間にわたる準備、企画、大会当日の運営に県内図書館職員、関係者の絶大なる協力を得て、盛会の大会となりました。表彰式では、図書館功労者として当県大学図書館協議会から推薦いたしました横山進一氏(元高崎健康福祉大学)が表彰されました。

2日目の分科会は、当県大学図書館協議会で担当した第3分科会(会場:群馬大学大学会館ミューズホール)「テーマ:大学改革と図書館～これからの大学図書館のあり方を問う～」では参加者178名・第4分科会(会場:県民会館)「テーマ:利用者の求める図書館のゆくえ～携帯世代の情報リテラシー～」では128名もの参加を得ました。これらのテーマは大学図書館で当面する大きな課題でもあり時流にマッチし、図書館関係者等にとっても関心のあるテーマであり、会場では熱心な論議が行われました。

お手元に平成14年度第88回全国図書館大会記録・群馬「進化する図書館、未来を拓く群馬から」の記録集が届いたかと思います。3月26日全国図書館大会実行委員会が開催され事業報告・決算報告が承認され、この承認をもって全国図書館大会に關係します委員会を全て終了し、解散をいたしました。

最後になりましたが、この図書館大会を終えるにあたり、加盟館館長先生はじめ関係各位のご配慮により、大勢の加

盟館職員の参加や運営に多大なご協力を賜り、無事に大会を終えることができました。

この紙面をお借りいたしまして、お礼を申しあげます。ご協力ありがとうございました。

第88回全国図書館大会に参加して

群馬松嶺福祉短期大学図書館
小林 多美子

昨年10月の第88回全国図書館大会には運営員として参加し、第4分科会の受付を担当させていただいた。図書館に勤務しているながらも今まで大会に参加したことがなかったので、今回わずかながらも裏方として関わることが出来たことは本当に良い経験になった。

期間中多くの実行委員、関係者の方々が大会の成功のためにご尽力されている姿を見て、自分ももっと成長して、図書館界振興のほんの一助にでもなることができれば、などと大それた事まで密かに思ってしまった。現実は、毎日の業務に追われ、自館の振興すらも満足にかなえられていない状況であるのだが。

いつかまた大会に関わる機会が巡ってくるのならば、その時はもっと力になれるように、自己研鑽を積み、時代に合った図書館員として成長していきたいと強く感じた。

< 加盟館めぐい >

群馬県立医療短期大学図書館

1. 本学図書館の概要

①沿革(概略)

平成5年大学の開学と同時に開館、平成7年に県民への公開を開始しました。平成10年には独自のHPを開

設、平成11年より館長職が設置されました。

②施設

面積：735m² 座席数：88席（学習室含む。）

③資料の主な収集分野

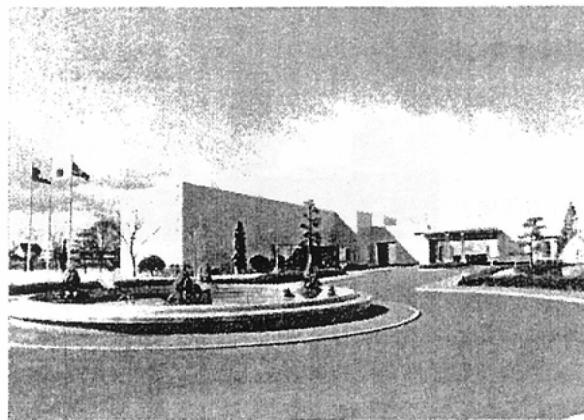
看護・診療放射線・保健・医療関係

④所蔵資料数（平14.3.31現在）

図書 42,232 (和 38,688、洋 3,544)

雑誌（タイトル）312 (和 252、洋 60)

視聴覚資料 ビデオ1,295 カセット104 CD7



2. 近況報告

本学では平日は午前9時から午後7時まで、土曜日は不定期ですが、月平均2回ほど午後1時から5時まで開館しています。このような開館時間の設定について学生がどのように感じているのか、この1月に全学生に対し、アンケート調査を実施しました。結果はほぼ現状に満足、ただし土曜開館は毎週おこなってほしいということでした。今後も学生の利便性を考慮した開館時間の設営に努めて行こうと思います。

群馬県立女子大学附属図書館

本学の創設は昭和55年で、当時、県内の女子進学率が低迷していたこと、進学者の多くが都内の大学に入学していたことから県民の切実な要望に応え、誕生したものである。

キャンパスは玉村町の南西部に位置し、南2キロ先は多野郡新町に、西1キロ先は高崎市に接している。教員数約50名、学生数880名で、国文学科、英文学科、美学美術史学科と大学院、付置機関としての外国語教育研究所を擁している。

附属図書館は戸澤義夫館長（美学美術史学科教授）と図書グループ員6名で運営されおり、3学科に関連する文学、芸術図書を中心に約13万7千冊を所蔵している。

平成13年度の図書費は1700万円、利用者は7700人、利用冊数は14300冊であった。他大学に先駆けて導入したCSスカイパーエクTV「伝統文化放送」、「シアターテレビジョン」は、生舞台を見る機会の

少ない学生から好評を得ており、関連講座にも活用されている。

本学では、大学改革の一環として、「国際社会を担える女子育成」という創設時の原点に立ち帰るため、平成17年4月に国際コミュニケーション学部の開設を予定しており、今まで少なかった社会科学系の図書や英語以外の語学関係図書を充実できる機会に恵まれそうである。
(川島)

「図書館利用規則」「図書館の開放に関する要綱」の改正について

前橋工科大学附属図書館

この規則・要綱の改正は、前号の会報に掲載させていただきましたく業務改善策〉の一連のもので、利用者の要望調査とサービス面の見直しによる改正案をまとめ、図書委員会、評議会で協議、教授会へ報告、4月1日の施行予定で進めているものです。

【利用規則の改正要旨】

①学生への貸出冊数と期間の拡大

現行 3冊まで 1週間

改正 6冊まで 2週間

※学生からの要望に応えたもので、特に議論はなかつた。

②教職員への貸出冊数の縮小

現行 50冊まで

改正 20冊まで

※縮小する理由として、返却期限を守らない状況があるため。

③雑誌の館外貸出の開始

現行 禁止

改正 発行1年以内の雑誌バックナンバー

貸出期間

2日間（貸出日を含む）発行後1年を超えたものは図書と同じ扱い。

※学生の要望が多くあり、既に建築学系の雑誌は複数購入して図書扱いで貸出している。また、雑誌室は職員の監視が届かないこともあって亡失が多いため3部づつ購入している。

④視聴覚資料の館外貸出開始

図書と同じ扱いで、貸出冊数は図書、雑誌、視聴覚資料を含めて6冊（点）の範囲内とした。

※新式の視聴覚機材の購入が困難なため、貸出すことによってその対応策とした。

【図書館の開放に関する要綱の改正要旨】

①利用資格

現行 高校生以下及び大学受験のための利用を除く

前橋市内に居住又は通勤通学する者

改正 中学生以下の児童、生徒は除く

群馬県内に居住又は通勤通学する者

※地域の制限は、群馬県立女子大学附属図書館は、「県民公開に関する規程」、高崎経済大学附属図書館は「県民公開要綱」で、いずれも県民を対象に公開している。また、群馬県公立3大学が連携を進めていることもあり、同一歩調にした。

※高校生の利用については次のような議論がありました。

(反対意見)

※大学の高度な学術研究調査の場の附属図書館に、高校生が入ってくることは本質的な意義が異なるのではないか。

※大学側から「夏期休業中は、学習席が空いている理由で、高校生に利用させてもよい」という考え方には賛成ににくい。

※大学図書館機能に支障は生じないか。

※午後10時まで高校生が大学図書館で学習することに問題はないか。

(賛成意見)

※高校生でも、大学の学術研究に関心がある人がいるかもしれない。興味を示すかもしれない。

※学術情報の利用を年齢などで制限しないで広く公開してもよいのではないか。

※高校生もいざれは大学生になるので、受験生確保のPR効果につながる。

※大学の積極的な地域貢献の姿勢が、市民の理解を得られる。

※市有財産の有効活用は、市民の利益につながる。

※公立大学では高校生に開放している図書館はないが、支障があれば状況に応じて対策をとることにする。

現行 閲覧及び館外貸出

②利用できる範囲

改正 本学の学生と同じ扱い

図書等の閲覧及び館外貸出

調査相談

文献複写

閲覧室での学習

利用に際しては、利用カードを必ず携帯すること。現在、新規定の適用のための対応の準備を進めています。

(倉林)

伊香保御用邸と温泉医療

群馬大学附属図書館

金井 義明

だいぶ以前のことであるが、群馬県に御用邸があったという話を聞いたことがある。そしてその跡地は、今で

は群馬大学伊香保研修所となっていた。

古くから、温泉が体にいいとか病を治すとかいうことは知られていた。温泉地によっては湯治場が設けられ、そこに自炊をしながら何日も逗留した話なども聞いている。加えて、明治時代になり近代医学が伝えられ、科学的データも得られるようになったり、入浴法なども研究され、健康増進にも大いに役立つことが実証的に判ってきた。

皇室に於かれてもそのような時代的背景もあり、温泉による健康増進のための配慮をされ、それに適した温泉の出る処で御用邸を設けるのにふさわしい場所の検討がなされたようである。伊香保町では御用邸が設けられることに期待がかけられ献納願も提出された。明治23年最適地として元老院議員金井之恭の伊香保の別荘とその周辺が決定し、明治26年離宮建設となった。金井之恭は明治の三筆とされ、皇族が訪れたときの事蹟について書いた碑が伊香保神社境内にある。

御用邸には皇族の方々が年々訪れ、過ごされたとのことである。御用邸内の温泉は皇族の方々に貢献したであろうことが推察される。温泉の湯は、土類含有炭酸鉄泉、土類含有石膏性苦味泉（躍進群馬縣誌：昭和30年、貢235による）に属し、茶色く、手拭を入れると染まってしまう。効能は貧血症、胃腸病、婦人病、腺病等々。

戦後、御用邸の大部分は文部省へ移管され、群馬大学温泉診療所兼研究所となり、地域の人々へも恩澤があつたと思われる。そして、昭和53年に研修所となり、医療機関としての機能は終わった。

なお、離宮の建物は火災に遭い現存しない。

からっ風通信 第14号 最近思うこと

明和学園短期大学図書館司書

関 口 富 江

私の好きなテレビ番組に『動物奇想天外！』があります。先日も草食動物の生きるために力強い生命力を見ました。産まれて5分もすると、自分の足で立って、母親はもちろん、周りの仲間たちも「ガンバレ！ガンバレ！」と応援している。そして30分もすると、もう走る事ができるようになり、母親にしっかりと寄り添い安全な所まで移動する。それまでは、どんなに子供がお乳を欲しがっても母親は与えない。ここでもしお乳をあげたら、ハイエナなどに襲われ命を落としかねない。人間だったら、子供が泣いてねだればすぐに与えてしまうだろう。動物の世界は厳しい。この番組を見ているといつも教えられる。子供に対する母親の厳しく優しい愛情を。そして感動。精一杯真剣に生きていく姿。そんな動物の姿を見ていると、人間とはいかに愚かでわがままで我慢のできない生き物なのだろう

うと、自分自身も反省させられる。

我が家には、犬と猫、金魚がいます。愛情をかけ育てています。口は利けなくても人間の言う事はよくわかります。本当に純粋な心を持っています。私の具合が悪い時、すごく心配そうな顔をして手を出して、クンクンと犬が寄って来ます。私の肩が痛くて娘に揉んでもらっている時「痛い【痛い】」と叫ぶと、まるで娘がお母さんをいじめていると思って犬が娘に跳びかかってきます。もちろん、噛み付くとかするのではなく、「いじめちゃダメ」と戒めるように来るのです。自分の面倒をいつも看てくれる人を本当に一番大切にと思う犬心かもしれません。金魚でさえ、毎日エサの時間になると一斉に顔を向けておねだりします。猫も、鳴き真似をすると返事をします。そんな生活の中で、人間同士のやりとりに疲れた時は、彼らの顔を見るとホッとします。必ずと言っていいほど、出掛ける時、帰って来た時は、玄関に来ています。

私は人間であるけれど、動物たちに沢山いろいろな事を教えられます。そんな動物たちの優しい気持ちを持てる人間になりたいものです。最近つくづく思うのです。私にとって彼らは、生きる幸せと疲れた気持ちを癒してくれる存在である事に。

人間の世界では、ホームレスの殺害や幼児虐待、動物の世界では生きるために食料として、殺される事もあるけれどそれ以上の事はない。人間として産まれた以上、それぞれ生きる権利はあるのです。誰も奪う事は許されない。子供だって親の持ち物ではない。一人の人格を持った人間なのです。生を受けた以上必要とされない人間はいない。もっと自分を大切に、他人ももちろん大切にして、人生を過ごしたいと私は最近思うのです。

群馬県大学図書館協議会会員名簿

育英短期大学図書館

関東学園大学松平記念図書館

関東短期大学松平記念図書館

桐生短期大学図書館

共愛学園前橋国際大学図書館

群馬県立医療短期大学図書館

群馬県立女子大学附属図書館

群馬工業高等専門学校図書館

群馬社会福祉大学図書館

群馬松嶺福祉短期大学図書館

群馬大学附属図書館

群馬大学附属図書館 医学分館

群馬大学附属図書館 工学部分館

群馬パース看護短期大学図書館

上武大学附属図書館

上武大学附属図書館 分館

高崎経済大学附属図書館

高崎芸術短期大学図書館

高崎健康福祉大学図書館

高崎健康福祉大学短期大学部分館

高崎商科大学図書館

東京福祉大学附属茶屋四郎次郎記念図書館

東洋大学附属図書館板倉分館

新島学園女子短期大学図書館

放送大学群馬学習センター図書室

前橋工科大学附属図書館

明和学園短期大学図書館

編集後記

会報第9号をお届けします。発行日が予定より過ぎてしまい、お詫び申し上げます。

◎編集委員

金井 義明(群馬大学附属図書館) 倉林 邦男(前橋工科大学附属図書館) 小野里 喜一(明和学園短期大学)